補足情報

●江戸川 次郎さんは、次のようなサービスを申請しました。

また、申請は受理され、サービス等利用計画案については「事業者作成」が選択されました。指定特定相談支援事業所の選択支援も済み、「サービス等利用計画案作成依頼」のも発行されました。

1. 居宅家事援助　１日1.5時間×週４回　　　計＊＊時間

※内容は、買い物（代行）、料理、掃除・片づけ、洗濯

※本人は家事を覚えたいと話しています。

1. 通院等介助　　往復４時間×１か月１回　　計４時間
2. 就労継続B

※本人は「しごと」への足掛かりが欲しいと話しています。

※本人は音楽活動やコンビニアルバイトの経験が活かせればと話していますが、片麻痺になってから自信が持てずにいます。

※福祉サービスを利用したことがないので、イメージがわかないとのこと。まずは色々と情報を知りたいとのことでした。

1. 移動支援

※内容は就労Bへの同行、買い物の同行、その他必要な同行支援です。

1. 短期宿泊

※本人は母が入院するまでの間、一人暮らし体験ができたらと話しています。

モニタリング追加情報

●１か月後のモニタリングで、次のような確認をしました。

＜本人の意見＞

・ヘルパー　「母さんの入院までに、どんな人にどんなことをしてもらうのか知っておけと言われた。実際、病院には一回一緒に行ったが、優しい人でよかった。」

・就労B　　「いくつか教えてもらって、パソコンの仕事を見学することにしたが、給料が安いと思った。でも普通の仕事はまだ無理そうだし、やってみたい。」

・短期宿泊　「宿泊先の見学には行ってきた。何とかなると思っているが緊張する。自然体でいいと言われたことが助かった。」

＜事業所からの意見＞

・ヘルパー　「お母様がまだいらっしゃるので家事には入っていませんが、家の中は確認させていただきました。次郎さまとは通院に御一緒しましたが、ゆっくりであれば歩行の介助も必要なく、道順も覚えてらっしゃるので、見守り程度でよさそうです。」

・就労B　　「まずは見学していただき、ご本人様が試してみようということであれば実習から入らせていただきます。やってみないと分からないこともあるのでトライしていただければと思います。」

・短期宿泊　「事故に遭ってから一人で寝泊まりしたことが無いとのことで、大変緊張されていましたが、試験でもないので自然体でいいとお返ししました。お母様が入院される前に、1度宿泊されたほうが、いろいろと分かるので良いと思います。」